

2. 調査結果の概要

(1) 調査客体の基本属性

ア 男女比率

(表1) 男女比率

(%)

	日 本	アメリカ	ドイツ	スウェーデン
男	45.6	48.7	43.8	46.4
女	54.4	51.3	56.3	53.6

イ 年代別構成比

(表2) 年代別構成比

(%)

	日 本	アメリカ	ドイツ	スウェーデン
60～64 歳	18.2	21.5	22.8	18.2
65～69 歳	26.4	21.4	21.0	26.8
70～74 歳	20.2	17.1	22.9	26.1
75～79 歳	15.5	16.3	13.6	13.1
80～84 歳	12.0	13.5	10.8	10.4
85 歳以上	7.7	10.2	8.8	5.4

ウ 結婚の状況（F3）

「現在の結婚の状況」についてみると、各国とも「現在、配偶者あるいはパートナーと同居」（日本 69.6%、アメリカ 46.6%、ドイツ 50.2%、スウェーデン 51.1%）の割合が最も高くなっている。

また、アメリカ、スウェーデン及びドイツでは「配偶者あるいはパートナーとは別居あるいは離婚」（アメリカ 18.9%、ドイツ 13.5%、スウェーデン 22.8%）の割合が、日本（5.5%）よりも高くなっている。（表3）

（表3）結婚の状況

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 結婚したことがない	1.8	1.7	0.9	1.4	1.6	1.8	2.5	4.5	6.5	4.2	5.9	5.4	6.3	4.9	5.3	5.9
2 現在、配偶者あるいはパートナーと同居している （仕事上の別居を含む）	64.2	68.9	77.4	69.8	72.3	69.8	71.7	69.6	46.2	49.0	49.4	46.1	44.5	47.6	46.7	46.6
3 配偶者あるいはパートナーとは、健康・介護上の理由で別居中である（病院・老人ホーム、子供・親族の世帯などで介護を受けている等）					1.2	1.3	0.8	0.6					1.1	0.8	1.0	1.3
4 配偶者あるいはパートナーとは、別居あるいは離婚している	2.0	2.2	1.7	3.3	3.1	2.1	4.3	5.5	9.7	9.0	8.1	13.6	14.6	13.5	17.6	18.9
5 配偶者あるいはパートナーは、死亡している	31.4	27.0	19.7	25.3	21.3	24.8	20.5	19.6	37.4	37.7	36.3	34.6	33.1	33.2	29.3	27.3
無回答	0.6	0.3	0.3	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.4	-	0.1	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 結婚したことがない	5.2	4.1	5.4	5.9	4.0	5.0	6.5	4.1	7.0
2 現在、配偶者あるいはパートナーと同居している （仕事上の別居を含む）	45.4	50.4	50.3	49.9	56.4	50.2	54.1	66.9	51.1
3 配偶者あるいはパートナーとは、健康・介護上の理由で別居中である（病院・老人ホーム、子供・親族の世帯などで介護を受けている等）			0.6	0.7	0.4	1.6	1.1	0.6	1.2
4 配偶者あるいはパートナーとは、別居あるいは離婚している	4.2	5.6	7.4	12.4	11.0	13.5	9.8	12.4	22.8
5 配偶者あるいはパートナーは、死亡している	44.6	39.6	36.3	30.8	28.1	29.0	28.5	16.0	17.9
無回答	0.7	0.3	-	0.4	0.2	0.8	-	-	-

エ 家族との同居の状況（F 4）

「家族との同居の状況」についてみると、日本、アメリカ及びスウェーデンでは「夫婦二世帯」（日本 36.5%、アメリカ 38.3%、ドイツ 47.7%）の割合が最も高く、スウェーデンでは「単身世帯」（47.9%）の割合と「夫婦二世帯」（47.4%）が同程度である。

日本では「本人と子（配偶者がいる場合を含む。）の世帯」が 26.9%で、アメリカ（10.7%）、ドイツ（6.5%）、スウェーデン（2.5%）と比較して、子供と同居している高齢者の割合が高いことがわかる。

一方、アメリカ、ドイツ及びスウェーデンは、「単身世帯」（アメリカ 38.0%、ドイツ 40.6%、スウェーデン 47.9%）の割合が、日本（15.5%）を 20 ポイント以上上回っている。（表 4）

（表 4）家族との同居の状況

(%)

	日 本	ア メ リ カ
	第8回	第8回
1 単身世帯	15.5	38.0
2 夫婦二世帯	36.5	38.3
3 本人（配偶者がいる場合を含む。） と親の世帯	3.3	1.0
4 本人と子（配偶者がいる場合を含む。） の世帯	26.9	10.7
5 本人と子と孫（子、孫ともに配偶者が いる場合を含む。）の世帯	13.4	7.1
6 その他	4.4	5.0
無回答	-	-

	ド イ ツ	ス ウ ェ ー デ ン
	第8回	第8回
1 単身世帯	40.6	47.9
2 夫婦二世帯	47.7	47.4
3 本人（配偶者がいる場合を含む。） と親の世帯	0.2	0.1
4 本人と子（配偶者がいる場合を含む。） の世帯	6.5	2.5
5 本人と子と孫（子、孫ともに配偶者が いる場合を含む。）の世帯	0.1	0.4
6 その他	4.6	1.7
無回答	0.3	-

注) 第1回～第7回までは、同居している家族について聞いた。

第7回の質問文と選択肢は下記のとおり。なお、第8回からは単数回答。

あなたは、現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めて下さい。（○はいくつでも）

- 1 あなたの配偶者あるいはパートナー
- 2 既婚（離死別を含む）の子供（男）
- 3 既婚（離死別を含む）の子供（女）
- 4 未婚の子供（男・女）
- 5 子供の配偶者あるいはパートナー
- 6 孫
- 7 兄弟・姉妹
- 8 その他の家族・親族
- 9 家族・親族以外の人
- 10 一緒に暮らしている人はいない

オ 子供の有無（F5）

「子供の有無」についてみると、各国とも「子供あり（別居のみ）」（日本 49.9%、アメリカ 70.9%、ドイツ 76.7%、スウェーデン 84.3%）の割合が最も高くなっている。アメリカとドイツでは7割以上、スウェーデンでは8割以上が、子供と別居して生活していることがわかる。

日本では「子供あり（同居・別居ともに）」（27.1%）もしくは「子供あり（同居のみ）」（14.8%）と回答した子供と同居している高齢者が4割を上回り、他の3か国より多くなっている。（表5）

（表5）子供の有無 (%)

	日 本	ア メ リ カ
	第8回	第8回
子供あり（計）	91.8	88.5
1 子供あり（同居のみ）	14.8	6.2
2 子供あり（別居のみ）	49.9	70.9
3 子供あり（同居・別居ともに）	27.1	11.5
4 子供はいない	8.2	11.4
無回答	-	0.1

	ド イ ツ	ス ウ ェ ー デ ン
	第8回	第8回
子供あり（計）	86.2	87.3
1 子供あり（同居のみ）	3.4	1.5
2 子供あり（別居のみ）	76.7	84.3
3 子供あり（同居・別居ともに）	6.2	1.5
4 子供はいない	13.4	12.7
無回答	0.4	-

注) 第5回～第7回までの質問文は、同居、別居している子供の人数についてそれぞれ聞いた。質問文は、「あなたは、現在、何人のお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居それぞれについてお答え下さい。養子の方も含めて下さい。ただし、すでに亡くなった方は含めないで下さい。」

カ 最終学歴（F6）

「最後に卒業（中退）した学校」についてみると、日本では「後期中等教育（高等学校）」（39.7%）、アメリカとスウェーデンでは「高等教育（短期大学・高専・専門学校（専修学校専門課程）・大学以上）」（アメリカ 57.2%、スウェーデン 49.2%）、ドイツでは「初等・前期中等教育（小学校・中学校）」（62.0%）の割合が、それぞれ最も高くなっている。（表6）

（表6）最終学歴

（%）

	日 本	ア メ リ カ
	第8回	第8回
1 初等・前期中等教育（小学校・中学校）	25.4	8.9
2 後期中等教育（高等学校）	39.7	31.3
3 高等教育（短期大学・高専・専門学校 （専修学校専門課程）・大学以上）	33.9	57.2
4 その他（進学予備校・その他の学校）	0.5	2.4
5 わからない	0.4	0.2
無回答	-	-

	ド イ ツ	ス ウ ェ ー デ ン
	第8回	第8回
1 初等・前期中等教育（小学校・中学校）	62.0	17.1
2 後期中等教育（高等学校）	20.2	26.8
3 高等教育（短期大学・高専・専門学校 （専修学校専門課程）・大学以上）	16.4	49.2
4 その他（進学予備校・その他の学校）	1.4	6.9
5 わからない	-	-
無回答	-	-

注) 第2回～第7回までは、学校教育年数について聞いた。

質問文は、「あなたは、小学校・中学校・高等学校・大学・大学院（これらに相当する旧制の学校を含む）などのいわゆる学校教育を全部で何年受けましたか。専門学校や保育園、幼稚園を除いてお答え下さい。」

キ 住宅の種類（F7）

「現在、住んでいる住宅形態」についてみると、各国とも「持家（一戸建て）」の割合が最も高い。特に日本とアメリカでは「持家（一戸建て）」（日本79.5%、アメリカ68.6%）の割合が、ドイツ（41.8%）、スウェーデン（35.7%）に比べて高く、一方、ドイツとスウェーデンでは「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」（ドイツ36.4%、スウェーデン29.1%）の割合が、日本（10.3%）とアメリカ（14.5%）に比べて高い。（表7）

（表7）住宅の種類 (%)

	日 本	ア メ リ カ
	第8回	第8回
1 持家（一戸建て）	79.5	68.6
2 持家（分譲マンション等の集合住宅）	6.2	5.0
3 賃貸住宅（一戸建て）	3.3	5.9
4 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）	10.3	14.5
5 高齢者向け住宅・施設	0.3	3.0
6 その他	0.5	3.1
無回答	-	-

	ド イ ツ	ス ウ ェ ー デ ン
	第8回	第8回
1 持家（一戸建て）	41.8	35.7
2 持家（分譲マンション等の集合住宅）	15.6	32.0
3 賃貸住宅（一戸建て）	2.1	1.4
4 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）	36.4	29.1
5 高齢者向け住宅・施設	2.1	0.7
6 その他	2.0	1.1
無回答	0.1	-

注) 第5回は、「住宅の所有形態」と「住宅の形態」それぞれについて聞いた。

第6回～第7回までの質問文は、「あなたがお住まいの住宅は、次のどれにあたりますか。」

選択肢は下記のとおり

- 1 あなた又はあなたの家族が所有する一戸建て住宅
- 2 個人や民間企業が所有する賃貸の一戸建て住宅
- 3 公共団体や民間非営利団体の賃貸の一戸建て住宅
- 4 その他の一戸建て住宅
- 5 あなた又はあなたの家族が所有する一般の集合住宅
- 6 個人や民間企業が所有する賃貸の集合住宅
- 7 公共団体や民間非営利団体の賃貸の集合住宅
- 8 高齢者専用の集合住宅であり、かつ所有
- 9 高齢者専用の集合住宅であり、かつ賃貸
- 10 その他の集合住宅